

大雪山の素顔

まだまだ冬を楽しめる大雪山

4月から新年度がスタートします。入学や新社会人、新しい環境での生活、仕事などいろいろと新しい気持ちになる月でもあります。これまで通りという方もいるかもしれませんが。私は後者です。

さて、暦の上では4月ですが、まだまだ寒い日もあります。今年2月中旬には+10℃以上の5月並みの気温となったことは記憶に新しいですが、その後は平年並みの気温と降雪となり、季節は徐々に春に向かっていきます。

例年、桜の季節はGW頃になるため、最近本州方面から東川に移住した方や、GWに北海道に訪れる観光客からは「桜を2度も見ることができた」なんて話もよく聞きます。ちなみにお花見ではなく「花よりジンギスカン」という楽しみ方も、よく驚かれる北海道文化だったりします。私も栃木県出身で、東川に住み始めて20年以上経っているとはいえ、関東では3月中・下旬頃が桜の見頃のため新年度の桜のイメージの方が根付いていて、GWの桜を見ると「あ、いま北海道で暮らしているんだな」といった感覚になります。生まれ育った場所と違う場所にいる感覚を楽しんでいたりもします。

春の足音が近づいてはいますが、大雪山エリ



大雪山の麓へひがしかわ的観光イズム

アはまだまだ白い冬の世界です。太陽は冬よりも高い位置になっていて、柔らかな日差しを感じながら、新しい雪も降る季節です。

雪遊びや雪だるまを作ることでもできます。HACで提供しているスノーシュー散策ツアーもまだまだ楽しむことができます。もちろん、旭岳ロープウェイで姿見駅まで行けばスキーやスノーボードなども楽しめます。積雪量にもよりますが、旭岳エリアではGW頃までウインタースポーツや雪遊びなどで冬を堪能することができます。

今年大雪山に降った雪も、大雪山エリアのゆっくり進む季節の中でやがて解けていき、毎年6月中旬に旭岳で実施する「旭岳山のまつり（ヌプリコロカムイノミ）」の頃には、一部雪渓を残しながらも登山シーズンを迎えます。4月は大雪山の麓の雪解けの風景と、まだ冬を楽しめる大雪山旭岳の白い景色の、2つの季節を同時に堪能できる魅力的な月ですね。

アクティビティ提供専門ショップ「HAC」 中田 浩康
(有)アグリテック代表



◀春作業前の田んぼと、まだ白い大雪山



俳句

生涯の地図なき道や春浅し
 ゆるゆると進む八十路の春隣り
 ひと部屋を雛に奪われ夫と居る
 海風で能登の水仙凍と咲き
 木瓜の花生けて客待つ割烹着
 福寿草杖に伝はる地の息吹
 ふくしまの風ゼロからのこぶし咲き
 ひな祭りケーキのお礼はババ愛してる
 よく降るねそのかど曲がれば春隣り
 見上げても変わらぬ寝顔春隣
 黒板の宇宙へ背伸び一年生
 アスファルト顔をみせれば春隣
 白湯するまあるい背中春隣り
 母還る出羽の山里雪の里
 十勝岳噴煙激し牡丹雪

一緒に俳句を楽しみませんか
 ～みんなが先生でみんなが生徒～
 月1回、自由で開かれた句会を開催し、俳句を
 心から楽しんでいきます。

120年の伝統を受け継ぐ
東川町ヌタツプ吟社
 本田 082-1300502

杉山 鶴岡 石澤 保科 山内 八田 こばやし 齋藤 本田 佐々木 若田 三島 高瀬 紺野 伊東 杉山
 りつ 花風 桂 潤 智 郁 え 咲 桜 星来 代 ゆ ほ 宏 子